

おっぞんくんはサイズΦ31.75とΦ38.1を除き、再使用が出来る構造になっています。個々の現場で使用され取り外した継手の品質コンディションが全てに亘り弊社で把握が出来ない現実から、**原則として再使用は禁止**としています。

施工関係各位より、**緊急時等に限る処置として、おっぞんくん【再使用】のご要望**がありました。個々の事象に対し、施工管理者各位の責任範疇に於いて実行頂くために、『再使用マニュアル』を作成しました。

再使用の区分け【継手構造は、サイズ範囲により区分けされています】

Φ6.35&Φ9.52は、取り外し箇所に関し再使用が可能ですが、別途お問い合わせください。

Φ12.7～Φ28.58は取り外し箇所及び新規接合箇所にも再使用は可能です。

Φ31.75&Φ38.1は、構造的に**再使用は不可**です。

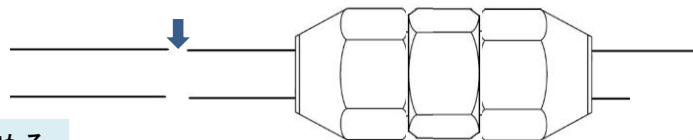
## Φ12.7～Φ28.58 再使用の手順

### 1 安全確認

配管内の圧力がゼロとなっていることを確認してください。  
無理な姿勢で作業しないため、安全作業ができるスペースを確保してください。

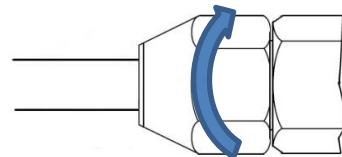
### 2 銅管の切断(新しい銅管に再使用する場合)

既接合部の銅管をローラーカッタで切断してください。



### 3 継手のナットを緩める

モンキーレンチを使ってナットを緩めてください。



### 4 既接合銅管の抜き取り

管の取り出しは、写真の様に、ナット側から押し出す方向(矢印)に押ししてください。引き抜きをするとレバレッジコーンが引掛るため抜けません。

管をこちら側から  
押し取り出す



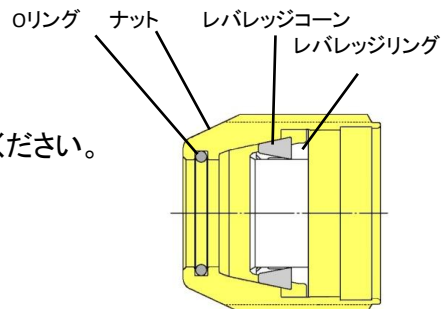
### 5 取り出したナットの確認

ナットに内蔵されているレバレッジリングとレバレッジコーンはナットから外さないで所定通り整っているか目視確認ください。

レバレッジリングの穴にレバレッジコーンが入っているか確認ください。**無い場合、欠落している場合は使用出来ません。**

ナット外部に傷や変形などが無い目視確認ください。  
**大きな傷や変形がある場合は使用出来ません。**

ナットの結露水侵入防止のリングが入っているか確認ください。  
**無い場合は使用出来ません。**



### 6 再使用する継手本体の確認

内部及び外部に異状が無い目視確認ください。  
内部のパッキンに傷やゴミ噛みがなく所定通り収まっていること。

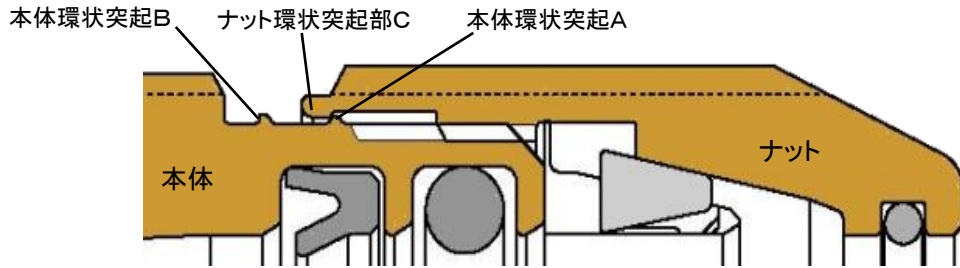
**パッキンに傷がある場合は使用出来ません。**

ゴミ噛みは除去してください。パッキンを清浄した場合は、スプレー式のシリコン油を塗布してください。

外部に打傷等異状が無い目視確認してください。**異常がある場合は使用出来ません。**

## 7 継手の再セット(手順5, 6で異常が無い場合)

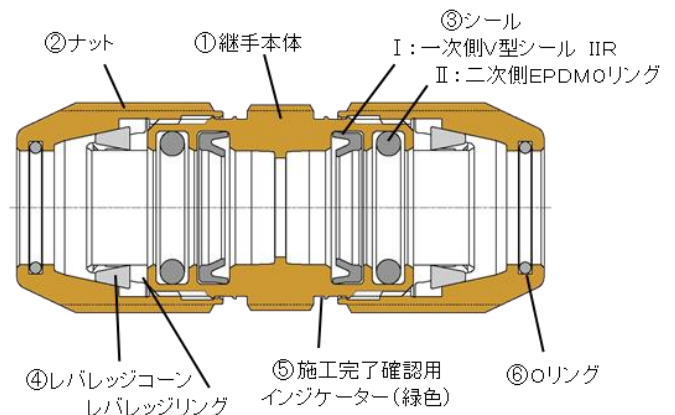
ナットと継手本体をねじ込みして下記の要領で組み立ててください。  
手締め後、モンキーレンチを使ってナットを締め込みます。ナットの環状突起部Cが本体環状突起Aを超えて本体環状突起AとBの間にナット突起部Cが入るまで締めてください。  
そのあと、手作業で、ナット環状突起部Cが、本体環状突起Aに接触して止まる位置まで戻してください。下図の状態がこの継手の施工スタートポジション【再セット完了】です。



## 8 再使用できる継手の状態

### A) 継手内部

- 異物・ゴミ・埃等の付着物が無い
  - 部材 (右図参照→)
  - ③の I . II のシール材それぞれが損傷なく完備している。
  - ④レバレッジコーンが脱落なく、損傷なくセットされている(表1)
  - ⑥のリングが損傷なく完備している。
- 上記1項目でも不備がある現物は使用禁止です。**



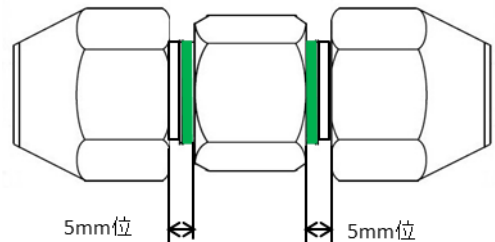
### B) 継手外部

- 打傷・歪み等が無い
  - ⑤のインジケータ(緑色)が消滅していない。
- 上記1項目でも不備がある場合は使用禁止です。**

サイズ	コーンの数	サイズ	コーンの数
Φ12.7	4個	Φ22.22	8個
Φ15.88	5個	Φ25.4	9個
Φ19.05	6個	Φ28.58	10個

### C) ナットの止まり位置

- ナットの位置が図の様にスタートポジションにあること。  
(ナット端部と本体スパナ掛け部端面の間が5mm位空いている)



## 9 再接合

施工要領通り、標準施工にて再接合を実施ください。

おっぞんくんは、標準施工の実施で確実な性能が保証されます。  
標準施工が実行されない場合は、事故発生の恐れがありますので、原則として補償の対象から除外されます。  
メーカーは各々の現場の施工品質の確認が現実的に出来ませんので、施工管理者各位の責任範囲で『再使用可否判断』をお願いします。判断がつかない場合は、調査依頼連絡をお願いします。



東尾メック株式会社

TEL: 0721-53-2281 FAX: 0721-53-2279

URL <http://www.mech.co.jp>

20170301